

平成 24 年 6 月 20 日

日本看護技術学会

評議員、前評議員の皆様

大会賞を受賞された会員の皆様

交流セッション(H23 年度)参加会員の皆様

日本看護技術学会 理事長 菱沼 典子

看保連による調査「看護ケア技術」のリストアップに関する

ご協力をお願い（依頼）

梅雨の候、皆様におかれましてはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より本会の活動に対しまして、積極的なご参加、ご協力誠にありがとうございます。

さて、日本看護技術学会は、看護系学会等社会保険連合(以下、看保連)に加盟し、日頃より、診療報酬体系および介護報酬体系等の評価・充実・適正化に向けた活動に参加してまいりました。このたび、看保連加盟学会は、看保連より、「診療報酬の適正評価のための看護ケア技術体系化に向けた研究」の一環として、「看護ケア技術」のリストアップ(一次調査)の協力依頼を受けております。その依頼内容は、看護ケア技術の体系化を目指し調査を行うという趣旨のものです。このことについて、本会の目的(会則第1条 本会は看護技術の検証と開発を追及し、もって看護実践の向上に寄与することを目的とする。)と照らし合わせて考えますと、この調査の機会を重要な機会とし、本会の目的を反映した「看護ケア技術」の提案をしていきたいと考えました。つきましては、みなさまがこれまで取り組まれてきた「看護技術」の検討を、「看護ケア技術」として整理し、ご提案いただけますようよろしくお願い申し上げます。尚、ご提案いただいた「看護ケア技術」に関しましては、本会の技術研究成果検討委員会で検討の後、看保連に提出させていただく予定であります。

<看保連からの依頼>

- ・診療報酬の適正評価のための看護ケア技術体系化の一次調査として、「看護ケア技術（誰が見ても専門性の高い知識と技術が必要であると理解される看護ケア技術）」について、最大5つリストアップすることを各看保連加盟学会へ依頼する。
- ・看保連の活動を詳しく知りたい方は 看保連ホームページへ <http://kanhoren.jp/>
- ・看保連からの研究協力依頼を参照したい方は 本会ホームページへ <http://www.jsnas.jp/>

<本会の活動>

- ・看保連の依頼内容に沿いつつも、本会独自の視点を加えた「看護ケア技術」について本会会員より広く募集し、技術研究成果検討委員会で整理・精選し、看保連へ8月31日までに提出する。
- ・上記のために、本会ホームページ上にて募集するとともに、これまで本会にて積極的に看護技術の検証、開発に取り組まれた会員に郵送にて協力を呼びかけ、7月31日までに別紙1の回答を得る。

本会会員の皆様には、別紙1の事前調査票において「看護ケア技術」を1つご提案いただき、7月31日(火)までにE-mailにて、本会事務局までご返信いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

【返信先】 E-mail : jsnas@slcn.ac.jp

日本看護技術学会事務局（本部事務局）

東京都中央区明石町 10-1 聖路加看護大学 大久保研究室気付け

【問い合わせ先】 技術研究成果検討委員・看保連委員 水戸優子(神奈川県立保健福祉大学)

電話/FAX046-828-2646/2647 E-mail mito-y@kuhs.ac.jp